

2022-2023 年度国際ロータリー第 2740 地区第 5 第 6 グループ
インターナショナルミーティングを終えて

佐世保中央ロータリークラブ IM 実行委員長 馬場貴博

令和 5 年 2 月 23 日に開催いたしましたインターナショナルミーティングの報告を致します
初めに 2740 地区ガバナー上村春甫様、パストガバナー福田金治様、パストガバナー千葉憲哉様、千葉まさこ令夫人、地区幹事 山下雄司様の御来賓を御迎えして開催いたしました。
当日は第 5 第 6 グループより 407 名の御登録を頂き懇親会には 172 名の御参加を頂きました。13:30 より開会し「不易流行ロータリーは何処へ・・」のメインテーマを基に第 1 部
わがクラブ自慢から始まりました。冒頭にロータリークラブの創設時を想像し佐世保中央
ロータリークラブのパスト会長をはじめとする迷俳優陣が 1905 年のシカゴを彷彿させる
ドラマを見て頂き場内は瞬時に喝采の渦に巻き込まれる熱気の中にスタートいたしました。
ここでは第 5 第 6 グループの 11 クラブの特色・クラブが力を入れていることなど文字通り
各クラブの自慢できるところを紹介して頂けました。流石に各クラブはパワーポイントや
動画プロの作成したプロモーションビデオの様に感じられ今回の IM 対する思い入れが凄く
感じられました。引き続き第 2 部は各クラブの幹事様をパネラーとし今回の IM 実行委
員会が作成した事前アンケートの結果を基にパネルディスカッションを開催しました。ア
ンケートの内容はこの 3 年間コロナ禍の中でクラブ運営の難しさの中、各会員がどのように
感じていたか、又クラブがどのように運営されていたか、第 1 部のクラブ自慢をみてど
んなことが参考になったか、ここ近年の定款変更を皆さんはどう感じているか、等々多岐
にわたりパネラー・参加者・来賓者の意見を交換いたしました。このパネルディスカッショ
ンは事前に質問事項は開示せずに当日の会員の生の声を聞かせて頂きました。
各クラブにはクラブの特色があり声があります。ただロータリークラブ創設より今まで
既に 100 有余年という時間が流れています。変えてはいけない普遍的なもの、しかし時代
の変化により変わらなければいけないものもあると思います。「不易流行」今回のインター
ナショナルミーティングのテーマはコロナ禍を生きるロータリークラブの各会員にとって一
番重要なテーマであったと確信します。今回の IM が新しい形の IM として感じて頂けたら
幸いです。
最後に今回の IM に際して多大なるご協力を頂いた第 5 第 6 グループの皆様のロータリア
ンとしての友情に深く感謝を申し上げて今回の報告にいたします。

2022-2023 年度国際ロータリー第 2740 地区第5第 6 グループ

インターナシティーミーティングを終えて



開会の言葉 IM 実行委員長 馬場 貴博君



歓迎の言葉 ホストクラブ会長 前田 真澄君



第5グループガバナー補佐 安部 重幸君



RI2740 地区ガバナー 上村 春甫君



RI2740 地区ガバナーエレクト 緒方 信行君



第6グループガバナー補佐 橋口 佳周君



第5 第6 グループの皆様



冒頭のドラマ

2022-2023 年度国際ロータリー第 2740 地区第5第 6 グループ

インターナショナルミーティングを終えて



第1部 わがクラブ自慢を発表される平戸 RC 松永 いずみ会長



第2部 パネラーの各クラブ幹事様



第2部 事前アンケートを基にパネルディスカッション



質問に答える 佐世保東南 RC 幹事 鎌田 裕二君



質問に答える 佐世保北 RC 渡会 祐二パスト会長



質問に答える 福田金治パストガバナー



質問に答える 千葉憲哉パストガバナー



クラブのレクレーションを紹介する佐世保中央 RC 牛島義亮君